



戦争だけは絶対に始めてはいけない!

おおみや平和の会・新日本婦人の会大宮支部

平和をねがう写真展を、市の後援を受けて開催

今年も、昨年同様に8月3日から17日の期間にて常陸大宮市役所1階エントランスホールにて開所時間帯に合わせて「平和をねがう写真展」を開催しました。開催に際し、常陸大宮市及び教育委員会の後援承認、「広報お知らせ版」へのイベント情報掲載を行いました。写真展では、昨年に続き「高校生が描いた原爆の絵」、加えて、沖縄戦「戦場の人びと」を展示しました。また、新日本婦人の会が「ピースメッセージカード」コーナーを設置し、呼び掛けて書いてもらいました。コーナーでは、小中学生から大人達が思い思いのメッセージを書いてくれ、カードをその都度展示して見てもらいました。

開催期間中は、1名以上の説明員を配置し、写真等の説明、アンケート記載の呼びかけ対応を行いました。

■アンケートには「核兵器禁止条約を批准すべき」の声

写真展を見てくれた 100人超の小学生、大人の人たちのアンケートには、「生々しく恐ろしく感じたが、現代の高校

生が描いたとはすばらしい。」「被爆者の体験話をお聞きしながら高校生が描いたという事ですが、身に迫るものがあり、生々しく感じられました。次世代の方々に語り繋げられ二度とないことを願うばかりです。」「現実をこれからも伝えることが大事である。」と書いてくれました。

また、「核兵器禁止条約」が発効し、被爆国の日本政府が条約に署名・批准していないことについて、アンケートでは大半の方々が「署名・批准をすべき」と回答していました。

この写真展の開催を通して、一人でも多くの方に原爆や戦争の悲惨さを知って頂くために継続していく必要があること、そして、平和と命の尊さについて考え、絶対に戦争をはじめてはいけないと思う機会になったことを確信します。
《相沢静男 常陸大宮平和の会》



78年前、日立市は軍需工場とともに爆撃された

さくらの街日立平和の会

さくらの街日立平和の会は、8月30日(水)から9月2日(土)の4日間、日立市・多賀支所1階ロビーにおいて「戦争と平和パネル」展を開催しました。広島市立基町高校の生徒が描いた原爆投下後の「ヒロシマ」32枚を展示。21年8月、活動を再スタートして以来、はじめての取り組みになりました。

来場者は、約100人。78年前、核兵器がもたらした惨状—爆風、熱線、放射線や火災によって都市と人間が一瞬で破壊されたことを、高校生の「絵」を通して目の当たりにしました。以下、3人の方が感想等を寄せてくれました。

○このようにすごい様子を描いた絵を見るのは初めてです。以前、時々見たことはありますが、このようにリアルな絵を見るのは初めてです。人間は、このように死ぬのかと思いました。全く、かわいそうです。この世から原爆は無

くさなければと
思いました。

○広島の平和記念資料館でも同じ様な展示物を見ました。改めて、一発の核兵器が無差別に多くの

命を奪い、生き残った人々の人生も大きく変えてしまった、という事実を認識しました。

- 絶対に原子爆弾を落としちゃだめ(小1年生)。こわかった(小4年生)。やだ こわい。こわかった(4歳)
- (高校生が描いた原爆の絵を)ずっと見たいと思っていました。展示ありがとうございます。被爆の実相を伝え継ぐ取り組みが、戦争の惨禍を繰り返さない力になると思います。

■空襲や艦砲射撃よって1,500人以上が犠牲になった!

日立市は、戦前から日立製作所の企業城下町として発展してきました。日立兵器株式会社(軍需工場)もありました。そのため、太平洋戦争の末期、空襲(1945年6月10日、7月19日)と艦砲射撃(同年7月17日)によって1,500人以上が犠牲になっています。戦争になれば、再び軍需工場や基地が狙われ、近隣の民間人からも多くの犠牲者が出ます。

先の通常国会では、軍需産業支援法が成立。自公は防衛装備品移転三原則(武器輸出三原則)を大幅に緩和し、殺傷能力の高い「武器」を輸出する議論をおこなっています。

敗戦後、日本は戦前の「富国強兵」政策を大転換し、「平和国家」として「平和産業」を経済活動の基盤としてきました。「戦争準備」を許すことは出来ません。



(はみだしコラム) はみだしコラムを募集します! あなたの気になること、ほっとしたこと、OK!ぜひ編集部までお寄せください。100字以内でお待ちします!(編集部)

高校生の描いた原爆の絵と広島原爆の写真を展示

うしく平和の会



市の「平和のつどい実行委員会」と一緒に!
 牛久市では、昨年から色々な団体が参加して実行委員会を作り「平和のつどい」を8月から9月にかけて実施しています。今年は、「うしく平和の会」は実行委員会には参加しませんでしたでしたが、展示会などの企画には協力して実施しました。

平和のつどい前段として、8月18日から21日まで中央生涯学習センター展示ホールで各団体の展示がありました。当会は、高校生の描いた原爆の絵と広島原爆の写真の展示を行いました。

■映画上映 (8/18)、講演会 (9/18) を九条の会と共同で開催
 また、18日には憲法9条牛久の会と共同で、映画「はだしのゲン」第1部の上映会を行いました。上映会には、会場の定員を超える参加者がありました。9月18日には、「戦争の加害731部隊と登戸研究所」(講師：山田朗)があります。



石岡の戦争前後の写真を展示、“自分ごと”として感じて

石岡平和の会

石岡平和の会は8月21日~25日に、石岡市役所1Fホールにて「写真で見る戦争前後の石岡」展を開催しました。写真は市内出身で当時新聞記者だった方のご遺族から画像をお借りし、当会が新たに制作、できるかぎりの情報を集めキャプションを付けました。準備は大変でしたが例年を上回る来場者を数え、多くの感想が寄せられました。

その中には「ドラマの中のような光景が実際に石岡市でも起こっていたという実感がわいてきました」「後世に伝えていかなければと思うので、またやってほしい」。また、当時の子どもたちや街並み、市民の暮らしがわかる写真には、「懐かしい、みんな一生懸命に生きていたんですね」などの声。戦争を遠い昔のこ



とではなく、今の私たちにも関係のある「自分ごと」として感じてもらえたら幸いです。

また、今回は展示会のチラシの裏に「石岡平和の会の紹介・入会申込書」を印刷し、多くの人に持ち帰っていただきました。初めての試みです。すると、期間中にわざわざ申込書を持って来場しご入会、その上カンパまでして下さった方がいました。知り合いではなく、この写真展とチラシがきっかけとのことで、これは大変心強い成果でした。



ユニセフ提供のウクライナの写真も併設。

そして市教育委員会がSNSで保護者などに呼びかけてくれたことで家族と来場する子どもたちも見受けられ、充実した写真展となりました。

「2023年日本平和大会in鹿児島」ツアー募集

ツアー参加者のために“カンパ”を呼びかけます!

今年の日本平和大会は鹿児島市内で開催されます。九州・沖縄・南西諸島にはミサイル部隊が配備され、日米軍事演習が激しくなっています。鹿児島県(種子島)西之表市の馬毛島では地元住民の反対を押し切って基地建設を強行。陸自大分分屯地の大型弾薬庫の建設計画、佐賀空港のオスプレイ配備のための工事など「戦争準備」が進められています。

県平和委員会事務局スタッフと、日本平和大会へ行きませんか。ツアー参加者を募集します。旅費等は後日発表。ツアー参加者を援助するための「カンパ」を広く呼びかけます。

平和大会
 学習パンフ
 レット▶

平和大会の「討議用パンフ」は、1部200円です。学習に絶対必要な情報が満載!。必要な方は事務局までご連絡下さい。また、会の学習会を計画して活用しましょう。

【日本平和大会日程】

- 11月11日(土) 開会集会等 13時~18時30分
- 11月12日(日) シンポ・分科会・閉会集会等 9時~15時

■開会集会・シンポジウムは、オンライン参加出来ます。こちらにも募集します。

(はみだしコラム) 今まで冬を越せずに夏場だけだった嫌床が初めて年を越し年が経った。おかげですべてお腹の調子もいい感じ。やはり発酵食品、特に植物性の乳酸菌は腸にいいんだらうなあ。これからも続けたい。byつちちゃん